

## 科目ナンバリング

科目ナンバリングとは授業科目に適切な番号を付与し分類することで、学修の段階や順序等を表し、カリキュラムの体系性を明示する仕組みで学生が科目の水準や専門性に依じて適切な授業科目を選択し、受講する手助けとなります。

### ①科目ナンバリングの構成について

科目ナンバリングは、以下の英数字9桁にて表します。

①学科	②学年	③必／選	④方法	⑤分野	⑥連番
S	4	1	1	578	01

(例)「歯科衛生学総論」の科目ナンバー S411-578-01

①専攻科 の ⑤社会系歯学関連 分野の科目で ⑥01 番目、授業は専攻科レベル・③必修科目・④講義形式で授業を行う。

### 【ナンバリングの項目とコード】

#### ①科目の設置学科(英字1文字)

S:専攻科

#### ②科目の難易度(数字1文字)

4:専攻科レベル

#### ③必修・選択の別(数字1文字)

1:必修科目

#### ④授業の方法(数字1文字)

1:講義 2:演習 3:実験・実習 4:外国語 5:実技

6:卒業論文 7:臨床実習

#### ⑤科目分野(数字3文字)

「科目ナンバリング分野一覧」を参照

#### ⑥科目認識番号

科目分野の下に割り当て、学科独自の方法にて表示します。

科目ナンバリング分野コード一覧

R3.5.11

コード	分野	詳細分野
143	ESP関連	English for Specific Purposes「特定の目的のための英語」、工業英語、医学英語、薬学英語、ビジネス英語、など
455	自然人類学関連	分子と遺伝、形態全般、骨考古全般、行動認知、生態、霊長類、進化、個体発生、変異など、
481	解剖学関連	解剖学、組織学、発生学、など
571	常態系口腔科学関連	口腔解剖学、口腔組織発生学、口腔生理学、口腔生化学、硬組織薬理学、など
573	保存治療系歯学関連	保存修復学、歯内治療学、歯周病学、など
574	口腔再生医学および歯科医用工学関連	口腔再生医学、生体材料、歯科材料学、顎顔面補綴学、歯科インプラント学、など
575	補綴系歯学関連	歯科補綴学、咀嚼嚥下機能回復学、老年歯科医学、など
578	社会系歯学関連	口腔衛生学、予防歯科学、口腔保健学、歯科医療管理学、歯学教育学、歯科法医学、など
579	歯科衛生学関連	歯科衛生士論、歯科予防処置論・歯科予防処置論実習、歯科保健指導論・歯科保健指導論実習、栄養支援論・栄養支援論実習
603	統計科学関連	統計学、データサイエンス、モデル化、統計的推測、多変量解析、時系列解析、統計的品質管理、応用統計学、など
845	卒業論文関連	卒業論文